

令和2年度当初予算

支出科目	款：総務費 項：地域振興費 目：地域振興推進費
担当課	中山間地域振興課
事業名	ひろしま里山・人材力加速化事業（単県）【一部新規】

目的

中山間地域の地域づくりリーダーの活動が、将来にわたって主体的かつ継続的に展開され、様々な人材とつながりを持ち、地域課題の解決に直接つながる活動へと発展していく仕組みを構築するとともに、新たな人材の育成や、地域づくり活動に参画する人の拡充を図ることにより、将来への不安を軽減しつつ、笑顔で幸せな生活を営むことができる中山間地域を目指す。

事業説明

対象者

県民等

事業内容

(単位：千円)		
区分	内容	要求額
新たな人材の育成・機運醸成	<ul style="list-style-type: none"> ○新たな活動人材の育成 <ul style="list-style-type: none"> ・地域づくりのノウハウを学ぶ「ひろしま<<ひと・夢>>未来塾」の開講（第6期） ○幅広い活動参加に向けた機運醸成 <ul style="list-style-type: none"> ・地域づくり実践者と知事による「里山ココロザシ・カフェ」の開催（6地域） ・里山資源を活かした取組の好事例の表彰を行う「ひろしま里山グッドアワード」の実施 	18,662
チーム500を活用した活動の活性化【一部新規】	<ul style="list-style-type: none"> ○中山間地域の活動実践者のプラットフォーム「ひろしま里山・チーム500」の運営 <ul style="list-style-type: none"> ・登録者の地域づくり活動情報の発信 ・実践者間の交流促進 ○地域内外の人がつながる仕組みの構築【新規】 <ul style="list-style-type: none"> ・チーム500登録者の活動継続と更なる発展に向けて、新たな関係団体や支援者等との双方向のコミュニケーションをサポートするためのウェブサイトを構築 ○新たな活動支援のための環境整備 <ul style="list-style-type: none"> ・産学金官で構成する「さとやま未来円卓会議」による助言 等 ・自立的な活動実践に向けたクラウドファンディング活用支援 ○相談窓口「サポートデスク」の運営 	19,428
合 計		38,090

成果目標

○ ワーク目標：地域づくりをリードする人材の育成 （H30実績）294人 （R2目標）360人

事業費 (単位：千円)

	事業費	財 源 内 訳							
		国庫支出金	分担金・負担金	使用料・手数料	財産収入	繰入金	諸収入	県債	一般財源
査定額	38,090	0	0	0	0	0	0	0	38,090
要求額	38,090	0	0	0	0	0	0	0	38,090
前年度当初予算額	30,448	0	0	0	0	0	0	0	30,448

査定結果

要求どおり

令和2年度当初予算

支出科目	款：総務費 項：地域振興費 目：地域振興推進費
担当課	中山間地域振興課
事業名	中山間地域活性化推進費（単県）【一部新規】

目的

次期「中山間地域振興計画」の策定に向けて、中山間地域の実態を踏まえた検討を進めるため、地域の現状等を詳細に把握するための基礎調査を実施する。

事業説明

対象者

中山間地域を有する市町

事業内容

（単位：千円）

区分	内容	要求額
次期計画策定に向けた基礎調査	<ul style="list-style-type: none">○集落実態調査【新規】 持続可能な集落の仕組みづくり等の検討を行うための生活実態調査<ul style="list-style-type: none">・集落基本情報調査 ～ 集落ごとの住民数，高齢化率，主要施設への距離等・生活実態調査 ～ 日常の移動手段や日用品の調達方法などについてのヒアリング調査○住民意識調査等【一部新規】<ul style="list-style-type: none">・中山間地域での暮らしに係る意識調査・現地調整等	27,000

成果目標

- 事業目標：集落における生活実態の把握

事業費（単位：千円）

	事業費	財源内訳							
		国庫支出金	分担金・負担金	使用料・手数料	財産収入	繰入金	諸収入	県債	一般財源
査定額	27,000	0	0	0	0	0	0	0	27,000
要求額	27,000	0	0	0	0	0	0	0	27,000
前年度当初予算額	3,584	0	0	0	0	0	0	0	3,584

査定結果

要求どおり

令和2年度当初予算

支出科目	款：総務費 項：地域振興費 目：地域振興推進費
担当課	中山間地域振興課
事業名	中山間地域外部人材活用支援事業（単県）【新規】

目的

中山間地域の中小企業経営者が、自社課題に応じた、最新の知識等を外部人材から取り入れつつ、経営基盤の充実や付加価値の向上に向けた行動をとることにつながるよう、市町と連携し支援する。

事業説明

対象者

中山間地域を有する市町の中小企業

事業内容

(単位：千円)

区分	内容	要求額
外部人材活用に向けての普及啓発	<p>○ 外部人材の効果的な活用に向けた市町が主催するセミナーへの支援</p> <ul style="list-style-type: none">・ 外部人材の活用に向けた講師等の派遣・ 参加企業を対象としたアンケート調査 <p>《セミナーの概要》</p> <ul style="list-style-type: none">・ 対象市町 中山間地域を有する市町・ 開催回数 10回（10市町程度）・ 対象者 中山間地域の中小企業経営者、地元経済関係団体等	8,000

成果目標

○事業目標：セミナー参加企業数 (R2目標) 200社

事業費

(単位：千円)

	事業費	財源内訳							
		国庫支出金	分担金・負担金	使用料・手数料	財産収入	繰入金	諸収入	県債	一般財源
査定額	8,000	0	0	0	0	0	0	0	8,000
要求額	8,000	0	0	0	0	0	0	0	8,000
前年度当初予算額	0	0	0	0	0	0	0	0	0

査定結果

要求どおり

令和2年度当初予算

支出科目	款：総務費 項：地域振興費 目：地域振興推進費
担当課	中山間地域振興課
事業名	チャレンジ・里山ワーク拡大事業（単県）

目的

廃校舎や古民家等中山間地域の既存施設を活かして企業のサテライトオフィスを誘致しようとする市町を支援し、中山間地域における新しいワークスタイルの定着と企業誘致を促進する。

事業説明

対象者

中山間地域を有する市町、首都圏等のサテライトオフィスを検討する企業

事業内容

(単位：千円)

区分	内容	要求額
関心の高い企業の掘り起し	○地方進出に関心の高いターゲット企業への誘致活動の展開 《主な活動》 マッチング ・ I T企業等を対象としたマッチングセミナーの開催 (2回程度) 個別訪問 ・ 関心が高い企業への訪問活動 (60社程度) ・ セミナー後のフォローアップの支援	10,600
市町の誘致活動に対する支援	○市町が行う誘致・受入体制の強化に対する支援 《支援概要》 ・ 首都圏等における誘致活動にかかる経費の支援 (誘致プロモーションの実施等) (経費の1/2を支援, 上限2,000千円) ・ 企業の現地受入等に要する経費の支援 (経費の1/2を支援, 上限1,200千円)	19,200
広報展開	○進出企業を中心に、中山間地域で働く新しいワークスタイルを効果的に情報発信 (HP運営, web広告の配信, 首都圏広報の強化, リーフレットの作成等)	5,300
合 計		35,100

成果目標

- ワーク目標：中山間地域における地域資源を活用した「新しい働き方」実践事例の発現 (サテライトオフィス進出企業等) (H30実績) 4件 (累計) (R2目標) 15件 (累計)
- 事業目標：お試しオフィスの利用件数 (H30実績) 16件 (R2目標) 60件

事業費

(単位：千円)

	事業費	財 源 内 訳							
		国庫支出金	分担金・負担金	使用料・手数料	財産収入	繰入金	諸収入	県債	一般財源
査定額	35,100	0	0	0	0	19,200	0	0	15,900
要求額	35,100	0	0	0	0	19,200	0	0	15,900
前年度当初予算額	34,346	0	0	0	0	25,200	0	0	9,146

査定結果

要求どおり

令和2年度当初予算

支出科目	款：総務費 項：地域振興費 目：地域振興推進費
担当課	中山間地域振興課
事業名	デジタル技術を活用した中山間地域の生活環境向上事業（単県）【新規】

目的

生活に身近な分野において、中山間地域の課題解決に資するデジタル技術を活用した新たなサービスを導入しようとする市町を支援し、中山間地域における取組モデルの創出と普及展開を図る。

事業説明

対象者

中山間地域を有する市町

事業内容

(単位：千円)

区分	内容	要求額
デジタル技術を活用した地域課題の解決	<p>○ デジタル技術を活用したサービスを通じて、中山間地域における身近な生活課題等の解決を図る市町のモデル的な取組を支援</p> <p>《支援概要》</p> <ul style="list-style-type: none">・対象分野 生活交通、農地保全、医療・福祉、防災・減災、移住・定住など・対象市町 課題解決に取り組む中山間地域を有する市町（市町による共同実施も可）・補助率 事業費の1/2 <p>※ 別途、「広島県デジタルトランスフォーメーション推進事業」による専門家の派遣等を通じて、市町における取組を重点的にサポートする。</p>	100,000

成果目標

○ 事業目標：デジタル技術を活用した課題解決モデルの創出

事業費

(単位：千円)

	事業費	財源内訳							
		国庫支出金	分担金・負担金	使用料・手数料	財産収入	繰入金	諸収入	県債	一般財源
査定額	100,000	0	0	0	0	0	0	0	100,000
要求額	100,000	0	0	0	0	0	0	0	100,000
前年度当初予算額	0	0	0	0	0	0	0	0	0

査定結果

要求どおり

令和2年度当初予算

支出科目	款：総務費 項：地域振興費 目：交通輸送対策費
担当課	地域力創造課
事業名	鉄道ネットワークを活かした中山間地域の魅力向上事業（単県）【新規】

目的

平成30年7月豪雨災害による被災からの全線復旧を機に、中山間地域の魅力向上を図るため、鉄道網を地域資源として活用し、中山間地域ならではの地域交流の拡大や地域の利便性向上に取り組む市町・沿線協議会等を支援する。

事業説明

対象者

鉄道網を活用し、地域交流の拡大等に取り組む市町・沿線協議会等

事業内容

(単位：千円)

内 容	要求額
鉄道網を活用した地域交流の拡大等 ○鉄道網を地域資源として活用した、地域交流の拡大等の取組を支援する。 ・鉄道を活用した広域観光の促進 ・鉄道路線・駅舎を活用したイベントによる地域の魅力発信 ・鉄道を核とした地域交通の利便性向上 《対象路線》JR芸備線, JR福塩線 《支援額》上限10,000千円 ○移動ニーズを把握するための実態調査の実施	27,000

成果目標

○ 事業目標：鉄道駅の利用者数の維持

事業費 (単位：千円)

	事業費	財 源 内 訳							
		国庫支出金	分担金・負担金	使用料・手数料	財産収入	繰入金	諸収入	県債	一般財源
査定額	27,000	0	0	0	0	0	0	0	27,000
要求額	27,000	0	0	0	0	0	0	0	27,000
前年度当初予算額	0	0	0	0	0	0	0	0	0

査定結果

要求どおり

令和2年度当初予算

支出科目	款：総務費 項：地域振興費 目：地域振興推進費
担当課	都市圏魅力づくり推進課
事業名	都市圏魅力創造事業（単県）

目 的

広島都市圏及び備後圏域において、内外の多様な人材を惹きつける魅力と活力ある地域環境の創出に向け、各圏域の中心である広島市及び福山市と連携した取組を推進する。

事業説明

対象者

広島市，福山市，県民 等

事業内容

- 広島市都心部（紙屋町・八丁堀地区及び広島駅周辺地区）の中核拠点性の向上を目指して、広島市と連携して取り組む。
- 備後圏域の活性化につながる福山駅前の魅力の向上を目指して、福山市と連携して取り組む。

（単位：千円）

区 分	内 容	要求額
魅力的な都市環境形成事業	<<広島市>> 「ひろしま都心活性化プラン」に基づく都心のまちづくりの推進に係る市の取組を支援 ○ 広島駅周辺地区のまちづくりの推進 ・地区の事業者等によるエリアマネジメント活動を支援 ○ 紙屋町・八丁堀地区のまちづくりの推進 ・地域主体によるエリアマネジメント活動や体制づくりを支援	2,771
	<<福山市>> 「福山駅前再生ビジョン」に基づき福山駅前地区の再生を図ろうとする市に対し、ソフト、ハード両面での一体的な取組を支援 ○ 福山駅前地区のまちづくりの推進 ・エリアマネジメントの活性化に向けた人材育成や機運醸成の取組を支援 ※ 福山市三之丸町地区の再生の支援（土木建築局） ・優良建築物等整備事業（国庫補助制度）を活用する市に対して、県内有数の広域交通結節点である福山駅前の広域的ポテンシャル向上の観点から補助 （事業名：福山市三之丸町地区再生促進事業 要求額：19,914千円）	3,500
	<<共通>> ○ 先進事例調査・有識者ヒアリング等 ・広島及び福山における都心活性化の課題や促進策を検討するため、先進事例の調査・検討などを実施	1,202
合 計		7,473

成果目標

- ワーク目標：多様な人材を惹きつける魅力的な地域環境の創出
- 事業目標：
 - 広島市と連携した取組件数 (H30実績) 7件 (H27以降累計) (R2目標) 10件以上 (H27以降累計)
 - 福山市と連携した取組件数 (H30実績) 2件 (H30以降累計) (R2目標) 3件以上 (H30以降累計)

事業費 (単位：千円)

	事業費	財 源 内 訳							
		国庫支出金	分担金・負担金	使用料・手数料	財産収入	繰入金	諸収入	県債	一般財源
査定額	7,473	0	0	0	0	0	0	0	7,473
要求額	7,473	0	0	0	0	0	0	0	7,473
前年度当初予算額	7,358	0	0	0	0	0	0	0	7,358

査定結果

要求どおり

令和2年度当初予算

支出科目	款：総務費 項：地域振興費 目：地域振興推進費 款：土木費 項：道路橋梁費 目：道路新設改良費
担当課	都市圏魅力づくり推進課
事業名	広島西飛行場跡地活用推進事業（単県）

目的

広島都市圏における高次都市機能集積強化により中枢拠点性の向上を図る。

事業説明

対象者

広島市，民間事業者

事業内容

- 広島西飛行場跡地利用計画に基づき，広島市と共同で関連事業に取り組む。
 - ・ 跡地活用に必要な交通アクセスの改善に向けた道路整備に係る設計，工事
 - ・ 多目的スポーツ広場整備に係る測量，地質調査，設計
上記いずれも事業主体は広島市（負担割合：県1/2・広島市1/2）
 - ・ 新たな産業（にぎわい）ゾーンの活用に係る検討

（単位：千円）

区分	内容	要求額
基幹道路の整備等	○工事（基幹道路） ○詳細設計（河川側道路）	348,500
多目的スポーツ広場の調査・設計	測量・地質調査，基本設計，実施設計	33,989
新たな産業（にぎわい）ゾーンの活用に係る検討	新たな産業（にぎわい）ゾーンの活用に係る検討経費	848
合計		383,337

成果目標

- ワーク目標：多様な人材を惹きつける魅力的な地域環境の創出
- 事業目標：広島西飛行場跡地の有効活用
（広島西飛行場跡地への交通アクセスの改善に資する道路整備，スポーツ・レクリエーション施設整備に向けた調査設計，新たな産業（にぎわい）ゾーンの活用に係る検討）

事業費

（単位：千円）

	事業費	財源内訳							
		国庫支出金	分担金・負担金	使用料・手数料	財産収入	繰入金	諸収入	県債	一般財源
査定額	383,337	0	0	0	0	0	0	313,600	69,737
要求額	383,337	0	0	0	0	0	0	313,600	69,737
前年度当初予算額	293,500	0	0	0	0	0	0	264,100	29,400

査定結果

要求どおり

令和2年度当初予算

支出科目	款：総務費 項：地域振興費 目：地域振興総務費
担当課	地域力創造課
事業名	ひろしまスタイル定住促進事業（単県）

目的

「都市と自然の近接性」という地域特性を生かした広島らしいライフスタイルの魅力の発信や、定住相談窓口などの定住サポート体制の強化等を通して、東京圏で高まりつつある地方移住の機運を取り込み、移住・定住につながる仕組みづくりを進める。

事業説明

対象者

東京圏を中心とした移住希望者，市町

事業内容

(単位：千円)

内 容		要求額
広島らしい ライフスタイルの 魅力発信	○デジタルマーケティングの手法を用いた情報発信 ○ホームページによる情報発信 ○市町や企業等と連携した定住フェアの実施	39,457
移住希望者と 地域のマッチング	○相談窓口の運営，相談者の来広支援 ○AIを活用した相談対応システムの運用	39,850
移住者に対する 受け皿づくり	○関係機関との移住者の受け皿となる仕組みづくり ○交流定住促進協議会への参画	8,514
合 計		87,821

成果目標

- ワーク目標：県外からの定住世帯数 (H30実績) 177世帯 (R2目標) 403世帯
UIターン転入者数 (H30実績) 6,303人 (R2目標) 6,501人
- 事業目標：東京での相談件数 (H30実績) 2,882件 (R2目標) 3,400件
LINE友達登録数 (R2目標) 2,700人

事業費 (単位：千円)

	事業費	財 源 内 訳							
		国庫 支出金	分担金・ 負担金	使用料・ 手数料	財産収入	繰入金	諸収入	県債	一般財源
査定額	87,821	0	0	0	0	0	0	0	87,821
要求額	87,821	0	0	0	0	0	0	0	87,821
前年度 当初予算額	97,530	0	0	0	0	0	77	0	97,453

査定結果

要求どおり

令和2年度当初予算

支出科目	款：総務費 項：総務管理費 目：国際交流費 款：労働費 項：雇用対策費 目：雇用対策事業費
担当課	国際課, 雇用労働政策課
事業名	外国人材の受入・共生対策事業（一部国庫）【一部新規】

目的

県内企業等において、そのニーズに基づき特定技能等の外国人材の受入れが適正かつ円滑に行われ、外国人が、県内企業で活躍し、孤立することなく県民の一員として地域に溶け込み、安心して生活できる環境を整える。

事業説明

対象者

外国人材を受け入れている又は受け入れようとしている県内企業、県内在住の外国人、県民

事業内容

(単位：千円)

区分	内容	要求額
外国人材の受入・共生対策事業【商工労働局】	○企業等を対象とした情報提供機会の拡大【拡充】 外国人材の雇用に課題を抱えている企業等を対象として、セミナー及び業界団体からの要請等に応じた出前講座の実施	2,707
多文化共生の地域づくり支援事業【地域政策局】	○外国人との共生推進事業【新規】 外国人が地域と繋がりを持ちながら、生活に必要な情報を共有できる仕組みづくりを市町と連携して実施	3,813
	○異文化理解促進プログラム【新規】 中学生等を対象とした異文化体験講座等を実施	
	○外国人専門相談窓口の運営及び地域日本語教室の拡充 在留資格や労働問題などに関する多言語専門相談窓口の運営と、地域日本語教室の拡充に向けた取組を実施	39,434
	○外国人への情報提供の充実【拡充】 県ポータルサイト(Live in Hiroshima)から、生活関連情報、地域行事、イベント情報等を多言語でSNS等により発信 ○外国人生活環境調査 外国人に対する生活環境面の取組の効果や課題等を把握するための調査	6,458
合計		52,412

成果目標

○ワーク目標

(就労面) 県からの情報提供企業のうち、適切な受入れ環境整備に関し、有益な情報を得ている企業等の割合の向上

(R元年実績) 42.4%, (R5年目標) 80%以上

(生活面) 生活で困っていないと答えた外国人の割合の向上

(R元年実績) 33.1%, (R5年目標) 40%以上

事業費

(単位：千円)

	事業費	財源内訳							
		国庫支出金	分担金・負担金	使用料・手数料	財産収入	繰入金	諸収入	県債	一般財源
査定額	52,412	19,705	0	0	0	0	24,129	0	8,578
要求額	52,412	19,705	0	0	0	0	24,129	0	8,578
前年度当初予算額	43,187	22,899	0	0	0	0	20,288	0	0

査定結果

要求どおり

令和2年度当初予算

支出科目	款：総務費 項：地域振興費 目：地域振興推進費 款：土木費 項：道路橋梁費，河川海岸費，港湾費 目：道路新設改良費，海岸保全費，港湾建設費
担当課	地域力創造課，道路整備課，港湾漁港整備課
事業名	韮地区振興推進費（一部国庫）

目 的

韮地区の再生・活性化に向けたまちづくりを促進するために、生活利便性の向上や安全・安心の確保などを図ることを目的とした韮地区の地域振興に係る事業について、福山市と連携・協力し、地元住民の方々と意見交換を重ねながら、取組を進める。

事業説明

対象者

韮地区の住民

事業内容

（単位：千円）

内 容		要求額
町中の交通処理対策 【土木建築局】	① バイパス機能としての山側トンネルの調査設計，用地買収及び関連事業の調査設計，用地買収，工事の実施 ② 電線地中化工事等の実施，並びに江之浦～焚場間の交通処理対策に必要な用地買収及び道路拡幅工事等の実施	（債務150,000） 684,000
防災対策 【土木建築局】	西町・道越地区及び江之浦～焚場地区における護岸の工事等の実施	421,000
交通・交流拠点等の整備 【土木建築局】	交通・交流拠点等の調査設計の実施	220,000
寄附募集のための情報発信等 【地域政策局】	福山市が平成29年度に策定した韮まちづくりビジョンを踏まえ，韮のまちづくりの取組に対する寄附を募るため，情報発信等を実施	18,846
合 計		（債務150,000） 1,343,846

成果目標

- H30実績
 - ・ 電線地中化工事，江之浦～焚場間の用地買収・工事や山側トンネルの検討に向けた各種調査等の実施
 - ・ 西町・道越地区の起伏式ゲートの整備，雁木復元工事，江之浦～焚場間の護岸等の詳細設計等の実施
 - ・ 寄附募集の開始に向けた地元及び関係機関との調整等
 - 事業目標
 - ・ 韮地区住民の利便性向上及び安全・安心の確保
 - ・ 韮地区の再生・活性化の推進
- （R2目標） 町中の交通処理対策，防災対策，交通・交流拠点等の整備及び寄附募集のための情報発信等の着実な実施

事業費（単位：千円）

	事業費	財 源 内 訳							
		国庫支出金	分担金・負担金	使用料・手数料	財産収入	繰入金	諸収入	県債	一般財源
査定額	（債務150,000） 1,343,846	82,500 270,000	131,685	0	0	0	8,850	60,700 714,800	6,800 218,511
要求額	（債務150,000） 1,343,846	82,500 270,000	131,685	0	0	0	8,850	60,700 714,800	6,800 218,511
前年度当初予算額	906,466	55,000	120,949	0	0	0	8,850	564,700	156,967

査定結果

要求どおり

令和2年度当初予算

支出科目	款：総務費 項：地域振興費 目：スポーツ推進費
担当課	スポーツ推進課
事業名	メキシコ選手団等事前合宿受入推進事業（単県）【一部新規】

目的

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向け、メキシコ合衆国等の選手団の事前合宿を県内各地で受け入れるとともに、各合宿地において、合宿を契機とした、スポーツ、経済、文化等、幅広い分野での交流を行い、県域全体の活性化につなげる。

事業説明

対象者

県民、市町、経済界、JOC、JPC、国、競技団体等

事業内容

(単位：千円)

区分	内容	要求額
事前合宿受入支援	○オリンピック・パラリンピック選手団の合宿受入市町への支援【一部新規】 ○受入サポート員の配置 ○通訳ボランティアへの研修	87,159
県内の機運醸成等	○全県的な合宿プロモーションの展開 ・ホームページの充実、保守 ・県内イベントや企業と連携したプロモーションの実施 ○東京2020大会後の交流の継続に向けた枠組の構築【一部新規】	11,710
合計		98,869

成果目標

- ワーク目標：スポーツに関する取組により、地域に活気や豊かさが生まれている。
- 事業目標：事前合宿にまつわる交流等の活動を実施した市町数 (R2目標) 23市町

事業費

(単位：千円)

	事業費	財源内訳							
		国庫支出金	分担金・負担金	使用料・手数料	財産収入	繰入金	諸収入	県債	一般財源
査定額	98,869	0	0	0	0	0	0	0	98,869
要求額	98,869	0	0	0	0	0	0	0	98,869
前年度当初予算額	88,725	0	0	0	0	0	0	0	88,725

査定結果

要求どおり

令和2年度当初予算

支出科目	款：総務費 項：地域振興費 目：スポーツ推進費
担当課	スポーツ推進課
事業名	東京2020オリンピック聖火リレー等実施事業（単県）【一部新規】

目的

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に先駆けて県内で実施されるオリンピック聖火リレー及びパラリンピック聖火フェスティバルを安全かつ円滑に運営し、大会に向けた機運を醸成する。

事業説明

対象者

東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会，市町，関係団体，県民 等

事業内容

○オリンピック聖火リレーに係る安全確保，セレモニー開催市への支援等。

（実施日程）2020年5月18日，5月19日

（実施市町）県内12市町

1日目：三次市→庄原市→東広島市→呉市→坂町→広島市

2日目：廿日市市→海田町→三原市→尾道市→府中市→福山市

○パラリンピック聖火フェスティバル（採火式，集火・出立式）の開催等。

（実施日程）2020年8月13日～8月17日

（実施市町）県内全23市町

（単位：千円）

区分	内容	要求額
オリンピック聖火リレー		123,853
警備実施【一部新規】	○走行路，沿道観覧エリア，セレモニー会場の安全確保	100,000
セレモニー開催支援【新規】	○出発式，セレブレーションを開催する市への補助	14,250
その他【新規】	○交通規制の告知・周知 等	9,603
パラリンピック聖火フェスティバル実施事業		13,635
セレモニー開催【新規】	○採火式，集火・出立式の開催	13,015
アフターイベント実施【新規】	○パブリックビューイング，障害者スポーツ体験会の実施	620
合計		137,488

成果目標

○ワーク目標：スポーツに関する取組により，地域に活気や豊かさが生まれている。

○事業目標：オリンピック聖火リレー及びパラリンピック聖火フェスティバルの安全かつ円滑な運営
東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた県内機運の醸成

事業費

（単位：千円）

	事業費	財 源 内 訳							
		国庫支出金	分担金・負担金	使用料・手数料	財産収入	繰入金	諸収入	県債	一般財源
査定額	137,488	0	0	0	0	0	132,693	0	4,795
要求額	137,488	0	0	0	0	0	132,693	0	4,795
前年度当初予算額	15,423	0	0	0	0	0	0	0	15,423

査定結果

要求どおり

令和2年度当初予算

支出科目	款：総務費 項：地域振興費 目：スポーツ推進費
担当課	スポーツ推進課
事業名	F I S Eワールドシリーズ広島2020開催支援事業（単県）

目的

アーバンスポーツ（※）世界大会の広島での開催を支援することにより、本県におけるスポーツ振興、地元経済の活性化及びスポーツと平和の祭典であるオリンピック・パラリンピック東京大会に向けた機運醸成を図るとともに、若い世代を中心とした世界の人々が広島を訪れ歴史や文化に触れることで、国際平和への願いを共有する機会を創出する。

※アーバンスポーツ

都市の遊びの中から生まれた若者に人気のあるスポーツで、音楽やファッション性を伴い、都市的なイメージを持つ一連の競技群を指す（スケートボードやスポーツクライミングなど、東京大会で追加競技となったスポーツを指す言葉として、国際オリンピック委員会をはじめとした国際スポーツ競技団体及びメディアで使用）。

事業説明

対象者

国内外のアーバンスポーツの競技者、県民

事業内容

区分	内容	要求額
大会開催に伴う負担	○ F I S Eワールドシリーズ広島2020を開催する（一社）アーバンスポーツ大会組織委員会に対する負担 ○ 第37回全国都市緑化ひろしまフェア実行委員会に対し、駐車場や駐輪場の移転に伴う追加経費を負担 【開催時期】令和2年4月3日～5日 【開催場所】広島市中央公園	50,000

※ アーバンスポーツの聖地化に向けて重要な役割を担う、アーバンスポーツアカデミー（選手育成・強化等の拠点）は、現在、関係競技団体との間で、開設に向け、継続交渉中である。

成果目標

- ワーク目標：スポーツに関する取組により、地域に活気や豊かさが生まれている。
- 事業目標：延べ来場者数（R1実績）10万3千人（R2目標）前回大会以上

事業費（単位：千円）

	事業費	財源内訳							
		国庫支出金	分担金・負担金	使用料・手数料	財産収入	繰入金	諸収入	県債	一般財源
査定額	50,000	0	0	0	0	0	0	0	50,000
要求額	50,000	0	0	0	0	0	0	0	50,000
前年度当初予算額	50,000	0	0	0	0	0	0	0	50,000

査定結果

要求どおり

令和2年度当初予算

支出科目	款：総務費 項：地域振興費 目：スポーツ推進費
担当課	スポーツ推進課
事業名	スポーツを活用した地域活性化推進事業（一部国庫）【一部新規】

目的

スポーツを核とした豊かな地域づくりに向け、スポーツを活用した地域活性化に取り組む。

事業説明

対象者

市町、スポーツ関係団体、県民等

事業内容

(単位：千円)

内 容	要求額
わがまち♡スポーツの推進 ○県内市町の実施するわがまち♡スポーツへの支援【新規】 ・アドバイザーボードによるノウハウ・人脈支援 ・県内市町の実施するスポーツを活用した地域活性化に係る取組の費用の一部に対するの財政支援 <<財政支援概要>> 上 限 額：1市町あたり5,000千円 対象事業：スポーツを活用した地域活性化に資する事業 (ソフト事業及びソフト事業に付随するハード事業) 補 助 率：1/2 ○スポーツを活用した地域活性化の取組に向けた機運醸成【新規】 ・スポーツ情報の一元化・戦略的情報発信 ○広島版スポーツコミッション（仮称）の組織運営	52,758

※財源は地方創生推進交付金を活用

【わがまち♡スポーツ】

地域のスポーツ資源を活用して、それぞれが目指す地域の活性化を図る取組。

【広島版スポーツコミッション】

県域全体としてスポーツを活用し、地域が様々な状態で活性化している状態を作り出すための組織。県内市町のスポーツを活用した地域活性化の取組が戦略的となるよう、伴走型支援を行う。

成果目標

- ワーク目標：スポーツに関する取組により、地域に活気や豊かさが生まれている。
- 事業目標：わがまち♡スポーツの取組を実施している市町数 (R2目標) 3市町

事業費 (単位：千円)

	事業費	財 源 内 訳							
		国庫支出金	分担金・負担金	使用料・手数料	財産収入	繰入金	諸収入	県債	一般財源
査定額	52,758	22,764	0	0	0	0	2,000	0	27,994
要求額	52,758	22,764	0	0	0	0	2,000	0	27,994
前年度当初予算額	19,326	8,481	0	0	0	0	0	0	10,845

査定結果

要求どおり

令和2年度当初予算

支出科目	款：総務費 項：地域振興費 目：スポーツ推進費
担当課	スポーツ振興課
事業名	国際スポーツ大会助成事業（単県）

目的

国際レベルのスポーツ大会を広島で開催することで、県民のスポーツへの関心を高めるとともに、世界に向けた広島のPRを行う。

事業説明

対象者

大会主催者，県民

事業内容

(単位：千円)

区 分	内 容	要求額
ジャパンウイメンズオープンテニス2020	【主催団体】（公財）日本テニス協会 【開催時期】令和2年9月12日～20日 【開催場所】広島広域公園	2,500
ASTCアジアトライアスロン選手権2020廿日市	【主催団体】ASTCアジアトライアスロン選手権 廿日市実行委員会 【開催時期】令和2年4月24日～26日 【開催場所】廿日市市役所周辺特設会場	2,500
合 計		5,000

成果目標

- ワーク目標：スポーツに関する取組により、地域に活気や豊かさが生まれている。
- 事業目標：（R2目標）県民のスポーツに対する意識高揚や本県スポーツの振興，競技力向上への貢献

事業費

(単位：千円)

	事業費	財 源 内 訳							
		国庫支出金	分担金・負担金	使用料・手数料	財産収入	繰入金	諸収入	県債	一般財源
査定額	5,000	0	0	0	0	0	0	0	5,000
要求額	5,000	0	0	0	0	0	0	0	5,000
前年度当初予算額	11,500	0	0	0	0	0	0	0	11,500

査定結果

要求どおり

令和2年度当初予算

支出科目	款：総務費 項：地域振興費 目：スポーツ推進費
担当課	スポーツ推進課
事業名	広島県総合グランド改修事業（単県）

目的

広島県総合グランド陸上競技場（メインスタジアム）について、日本陸連の第2種公認を継続するために必要な改修工事を行う。

事業説明

対象者

施設利用者

事業内容

（単位：千円）

区 分	要求額
○メインスタジアム改修工事 ・トラックの改修（オーバーレイ） ・インフィールド芝生の整備（芝生張替） ・用具の整備 等	（債務184,810） 324,947

成果目標

- ワーク目標：総合グランドの利用者数（H30実績）392,759人（R2目標）340,000人
- 事業目標：計画的な修繕，更新の実施

事業費（単位：千円）

	事業費	財 源 内 訳							
		国庫支出金	分担金・負担金	使用料・手数料	財産収入	繰入金	諸収入	県債	一般財源
査定額	（債務184,810） 324,947	0	0	0	0	0	0	138,600	46,210
要求額	（債務184,810） 324,947	0	0	0	0	0	0	138,600	46,210
前年度当初予算額	62,449	0	0	0	0	0	0	34,300	28,149

査定結果

要求どおり

令和2年度当初予算

支出科目	款：総務費 項：総務管理費 目：国際交流費
担当課	国際課
事業名	南米県人会創立周年記念事業（単県）【新規】

目的

「アルゼンチン広島県人会」が創立70周年、「ブラジル広島県人会」が創立65周年、「パラグアイ広島県人会」が創立60周年を迎え、記念行事が開催されるため、知事団訪問団を派遣する。

事業説明

対象者

アルゼンチン、パラグアイ、ブラジル在住の広島県出身者等

事業内容

(単位：千円)

区分	内容	要求額
訪問団派遣	〔訪問先及び主な行事〕 ・アルゼンチン 県人会70周年記念行事 ・ブラジル 県人会65周年記念行事 ・パラグアイ 県人会60周年記念行事 等 〔実施時期〕 令和3年1月頃	19,633

成果目標

- 事業目標：在外ネットワークの維持・強化

事業費 (単位：千円)

	事業費	財源内訳							
		国庫支出金	分担金・負担金	使用料・手数料	財産収入	繰入金	諸収入	県債	一般財源
査定額	19,633	0	0	0	0	0	0	0	19,633
要求額	19,633	0	0	0	0	0	0	0	19,633
前年度当初予算額	0	0	0	0	0	0	0	0	0

査定結果

要求どおり

令和2年度当初予算

支出科目	款：総務費 項：総務管理費 目：国際交流費
担当課	平和推進プロジェクト・チーム
事業名	国際平和拠点ひろしま構想推進事業（一部国庫）【一部新規】

目的

世界中のリーダーや研究者、NGOなど、幅広い人材や情報・知識、資金などの資源を広島に集め、結びつけ、つなぐことにより、核兵器廃絶や復興・平和構築などの分野の研究や活動が活発に展開される「国際平和拠点ひろしま」を実現することを通じて、平和で安定した国際社会の実現に貢献する。

事業説明

対象者

各国政府、県民、大学、NGO、財団、国連等の国際機関等

事業内容

区 分		内 容	要 求 額
核兵器廃絶	ひろしまラウンドテーブル開催事業	北東アジアの核軍縮に焦点を当てた円卓会議の広島開催	20,756
	ひろしまレポート作成事業	各国の核軍縮・不拡散の取組状況を調査・研究し、取りまとめ	
復興・平和構築	平和構築人材育成強化事業	高校生を対象にした国際平和貢献人材育成プログラム「グローバル未来塾inひろしま」の実施	4,765
持続可能な平和支援メカニズム構築	拠点構想推進事業	国際平和拠点ひろしま構想推進委員会の開催等	39,532
		NPT運用検討会議への参加（シンポジウムの開催、メッセージ発信）等	
	研究拠点形成推進事業	海外研究機関との共同研究の実施やその充実のための核軍縮研究国際ネットワーク会議の開催	
被爆・終戦75周年記念事業	賛同者拡大	2020世界平和経済人会議ひろしまの開催【新規】	176,353
		国際会議の広島開催支援【新規】	
		核兵器と安全保障を学ぶ広島－ICANアカデミーの開催	
		賛同者の飛躍的拡大を目指したウェブサイトのコンテンツ充実と効果的なプロモーションの実施【一部新規】	
		ひろしまジュニア国際フォーラム等を活用した平和を学ぶ機会の提供【新規】	
合 計			241,406

※財源は地方創生推進交付金を活用

成果目標

- 事業目標
 - ・海外メディア、研究機関等からの発信（R2目標）10機関
 - ・県が作成した資料などを活用し平和を学ぶ人数（H30実績）7,340人（R2目標）12,000人
 - ・（R2目標）平和の取組を推進する事業主体の整理

事業費

（単位：千円）

	事業費	財 源 内 訳							
		国庫支出金	分担金・負担金	使用料・手数料	財産収入	繰入金	諸収入	県債	一般財源
査定額	241,406	78,212	0	0	0	0	287	0	162,907
要求額	241,406	78,212	0	0	0	0	287	0	162,907
前年度当初予算額	151,081	63,994	0	0	0	0	207	0	86,880

査定結果

要求どおり

令和2年度当初予算

支出科目	款：総務費 項：総務管理費 目：国際交流費
担当課	国際課
事業名	ひろしまジュニア国際フォーラム開催事業（一部国庫）

目的

国内外の高校生等が国際平和についての討議や交流等を行い、友情と相互理解を深めるとともに、平和メッセージを世界に発信することを通じて、次の世代の人材育成を行う。なお、来年度は被爆75周年を迎え、またローマ教皇の広島訪問による核兵器廃絶の機運がこれまで以上に高まる中、広島国際平和への取組を一層加速させるため、参加対象者を全世界（193国連加盟国等）に拡大して実施する。

事業説明

対象者

国内外の高校生及び留学生等

事業内容

- 海外及び日本人高校生等による国際会議を開催し、広島国際平和メッセージ（広島宣言）をとりまとめ、国内外に情報発信する。

（単位：千円）

区分	内容	要求額
2020ワールド・ピース・ジュニアフォーラムの開催	【時期】 令和2年8月予定 (4～5日間程度) 【場所】 広島県内 【参加対象】 ・外国人高校生等（全国連加盟国等）200名程度 ・県内高校生等 35名程度 ・県外高校生 10名程度 【内容】 基調講演、グループ討議、 発表、文化交流体験、 平和関連行事 (平和記念公園への訪問、被爆体験の聴講等)	54,000

成果目標

- 事業目標：全世界から参加した高校生等により広島宣言を作成
フォーラム終了の半年後に参加者の70%が世界平和に向けた活動を開始

事業費（単位：千円）

	事業費	財源内訳							
		国庫支出金	分担金・負担金	使用料・手数料	財産収入	繰入金	諸収入	県債	一般財源
査定額	54,000	11,790	0	0	0	0	0	0	42,210
要求額	54,000	11,790	0	0	0	0	0	0	42,210
前年度当初予算額	15,210	0	0	0	0	0	0	0	15,210

査定結果

要求どおり